

令和8年3月吉日

保護者 様

一宮市立宮西小学校長

秋山 真一

「令和7年度 学校教育推進のためのアンケート」結果について

桃の節句も過ぎ、すっかり春めいてまいりました。保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは本校の教育活動のためにご理解やご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、過日アンケートをお願いいたしましたところ、ご回答くださりましてありがとうございました。つきましては、アンケート結果を別紙のようにまとめましたのでお知らせいたします。

皆様からお寄せいただいた内容を、来年度の学校経営に生かし、教育活動の一層の充実を図ってまいります。保護者の皆様方には、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

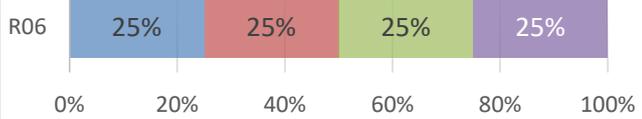


R7年度 学校評価（保護者アンケート）

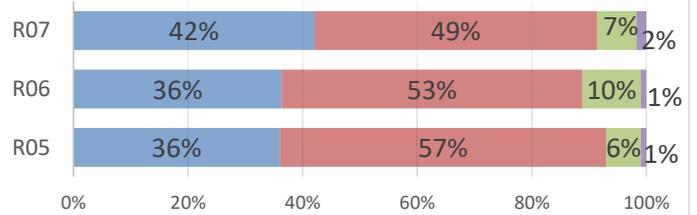
*経年変化 R05年度～R07年度
令和8年1月実施 回収件数523件

【凡例】

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない



1 お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか。



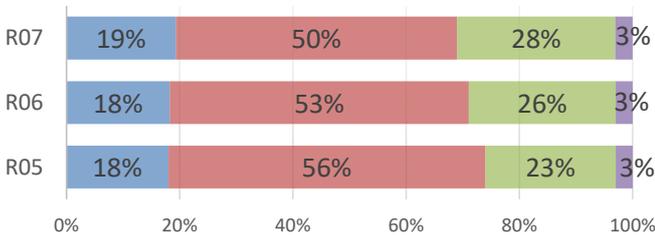
2 お子さんは、家庭学習を行う習慣が身についていますか。



3 お子さんは、読書が好きですか。



4 お子さんは、困難なことに最後までがんばる気力と体力が身



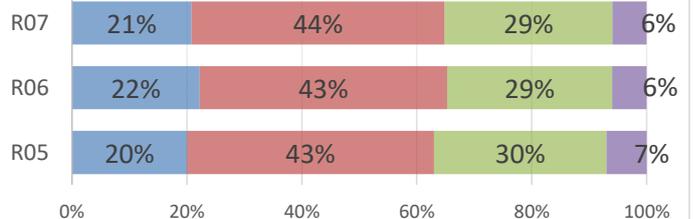
5 お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき・手洗いができていますか。



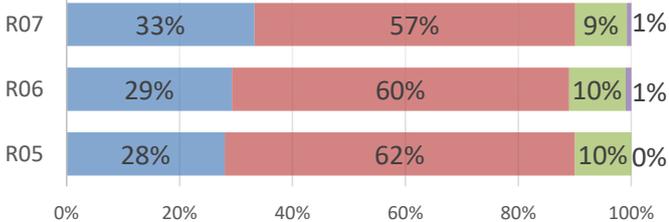
6 お子さんは、正しい言葉づかいが身についていますか。



7 お子さんは、近所の人や知っている人に進んであいさつができていますか。



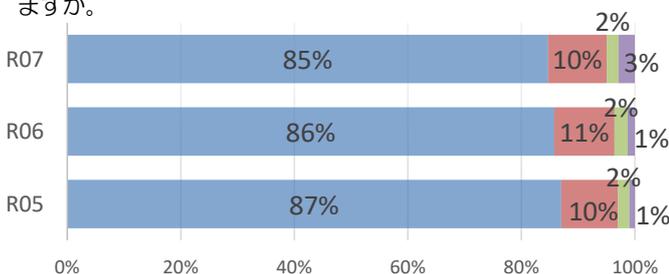
8 お子さんは、自分のことのように相手を大切にすると人権感覚が育っていますか。



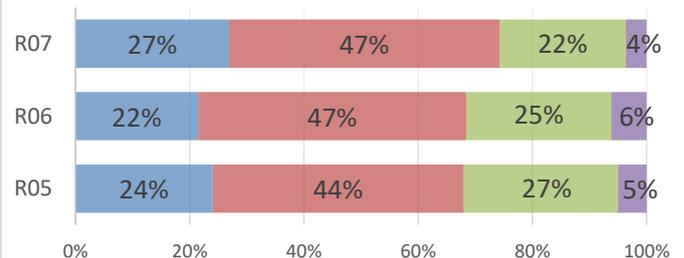
9 お子さんは、登下校時にホイッスルや防犯ブザーを身につけていますか。



10 お子さんは、自転車に乗る際にはヘルメットを着用していますか。



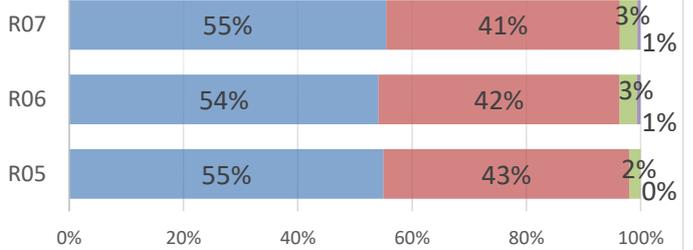
11 お子さんは、先生に悩みや困ったことを相談できますか。



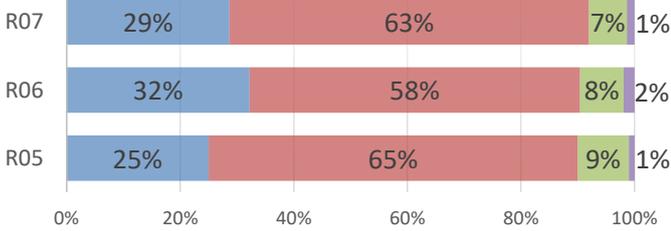
12 お子さんは、社会で自立して生きていくための態度や能力が、以前に比べて身につけてきていると思いますか。



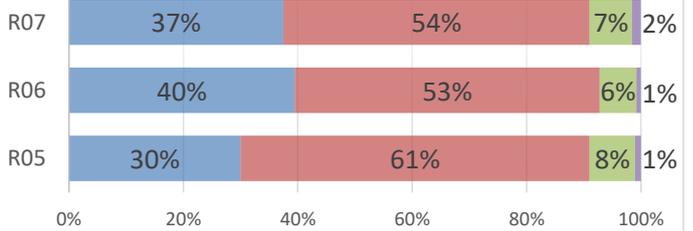
13 学校への電話や学校に訪問した際など、職員は適切に対応していると思いますか。



14 学校は、いじめ、不登校、問題行動等に対して適切に対応していると思いますか。



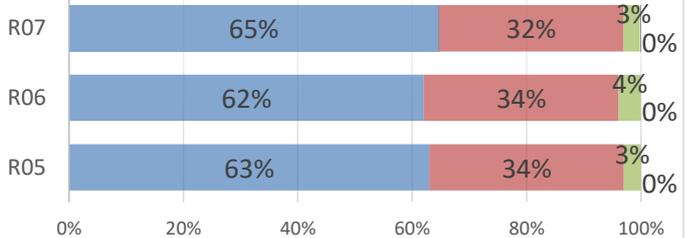
15 学校は、交通安全指導ができていると思いますか。



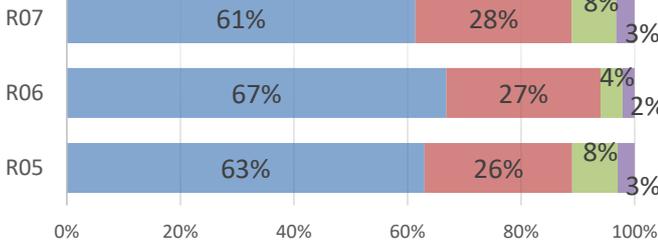
16 学校は、「学校支援ボランティア」など、保護者や地域との連携に取り組んでいると思いますか。



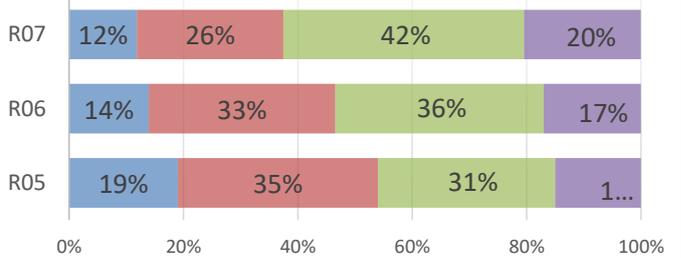
17 運動会・学習発表会などの学校行事は、お子さんが成長する機会になっていると思いますか。



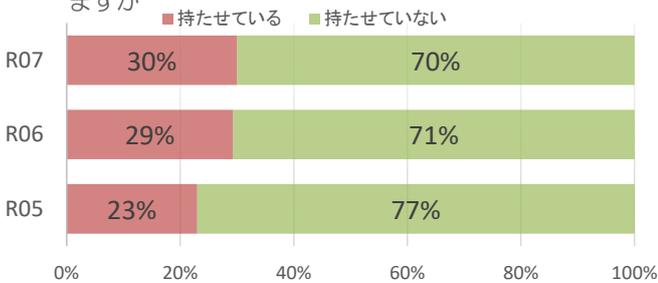
18 学校からのたより(学年だより・案内文書など)のペーパーレス化を進めています。特に不自由は感じなかったと思いますか。



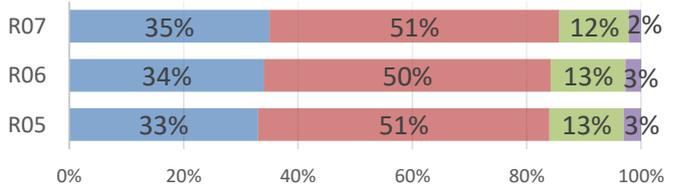
19 宮西小学校の「ホームページ」をよく見ていると思いますか。



4-1 お子さんが自由に使えるスマホを持たせていますか



4-2 学校でのタブレットの活用は、子供たちの学習活動に役に立っていると思いますか。



《アンケート結果のまとめ》

【学習・体力面について 項目1～4】

＜項目1＞お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか

「そう思う」「大体そう思う」を合わせると91%と、高い評価をいただいています。しかし、およそ10人に1人の児童は、「分かりやすい」と感じていないことが分かります。今後も、すべての児童にとって、より一層「わかる、できる、身につく」授業づくりをめざし、学習指導の充実に努めます。

＜項目2＞お子さんは、家庭学習を行う習慣（学年×10分以上机に向かう）が身についていますか

＜項目3＞お子さんは読書が好きですか

家庭学習を行う習慣については、「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が徐々に減少しています。読書については、「好き、好きな方だと思ふ」という児童が増加しています。家庭学習や読書の定着については、家庭学習の出し方や読書週間の取り組みなど、今後とも継続的な指導をしていきます。家庭学習時間の宿題を増やしてほしいとのご意見も多くいただいています。家庭での過ごし方が多様化している中、児童や家庭の負担にならない範囲で協力を得ていきたいと考えています。読書については、毎日の朝読書、読書週間の取り組み、読み聞かせボランティアの活動などの充実を図り、より多くの児童が読書に親しめるようにしていきます。

＜項目4＞お子さんは、困難なことに最後までがんばる気力と体力が身についていますか

「そう思う」「大体そう思う」を合わせた割合は年々減少しており、69%となっています。一つのことを最後までやり遂げることは、大人になってからとても大切になってくる力だと考えます。体験活動を取り入れ、何かを達成したり、成功したりした経験を積ませ、最後まで努力を続けることができるよう指導を進めます。

【生活・安全面について 項目5～12】

＜項目5＞お子さんは、早寝・早起き・歯磨き・手洗いができていますか

＜項目6＞お子さんは、正しい言葉遣いが身についていますか

＜項目7＞お子さんは、近所の人や知っている人に進んであいさつができますか

あいさつについては、「そう思う」「だいたいそう思う」との答えが5年度（63%）から7年度（65%）と、微増・維持の傾向にあります。一定の成果は見られますが、「自分から進んで」できている割合（「そう思う」）は、21%にとどまっています。あいさつは、マナーだけでなく、自立して生きていくためのコミュニケーションの土台となります。次年度は、「自分から」という自主性を伸ばしていきたいと思います。

＜項目8＞お子さんは、自分のことのように相手を大切にすると人権感覚が育っていますか

「大体そう思う」から「そう思う」へのシフトが起きています。5年度から7年度は、28%から33%と、5ポイント上昇しました。また、3年間を通じて、肯定的な評価が約9割を維持しています。今後も、相互理解を深めるためのピア・サポート、道徳教育、人権教育を進め、自他共にかげがえのない命を大切に行動できるように指導を進めます。

＜項目9＞お子さんは、登下校時にホイッスルや防犯ブザーを身に付けていますか

＜項目10＞お子さんは、自転車に乗る際にはヘルメットの着用を心がけていますか

ヘルメットの着用については、95%以上の保護者が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えており、安全への意識が高いことがわかります。しかし、少数ではありますが、ヘルメットの着用をしていないことも見受けられます。また、登下校時のホイッスル、防犯ブザーの着用については、「そう思う（しっかり着用している）」と回答した割合が、5年度の67%が、7年度には57%へと、10ポイントも低下しています。「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的な回答の合計値で見ても、86%から72%へと大幅に下がっており、全項目の中で最も懸念される傾向です。交通ルールやマナーの順守、ヘルメットの着用、ホイッスルや防

犯ブザーの着用など、自分を守るための行動については、繰り返し指導をしていきます。不審者情報も多くあり、実際にどのような場面で使うのか、具体的な指導を行っていきます。ご家庭でも折に触れてお話していただけたらと思います。また、自転車の交通事故は加害者になることもあり得ます。自転車事故対応の保険への加入もご検討ください。

＜項目 11＞お父さんは、先生に悩みや困ったことを相談できますか

「あまりそう思わない」「思わない」を合わせると 26%という割合になっています。以前に比べるとよい傾向ではありますが、依然として、子どもたちは、悩みごとや相談ごとがあってもなかなか言い出せない現状があると考えます。普段の様子に気を配り、教師と子どもが互いに心を開き、安心して話し合えるような信頼関係づくりに努めます。面談週間に限らず、気になることがあれば、教師から声をかけて思いを受け止めていきたいと思っています。

＜項目 12＞お父さんは、社会で自立して生きていくための態度や能力が、以前に比べて身につけてきていると思いますか

【本校の姿勢・対応について 項目 13～15】

＜項目 13＞学校への電話や学校に訪問した際など、職員は適切に対応していると思いますか

高い評価をいただいています。引き続き、あいさつ・話し方など、社会人として必要なマナーの向上に努めていきます。

＜項目 14＞学校は、いじめ、不登校、問題行動等に対して適切に対応していると思いますか

昨年度同様、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせると 92%と高い評価をいただいています。＜項目 11＞「先生への相談のしやすさ」も、徐々に向上しています。子どもの小さな変化を見逃さないよう日頃の声かけや相談活動の一層の充実を図り、学校と家庭で共有しながら、子ども一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう努めます。

＜項目 15＞学校は、交通安全指導ができていますか

【学校への関心について 項目 16～20】

＜項目 16＞学校は、「学校支援ボランティア」など、保護者や地域との連携に取り組んでいると思いますか

「そう思う」が、5年度の 30%から、7年度には 45%へと、3年間で 15 ポイント上昇しています。これは、学校と保護者、地域とのつながりを実感していただいていることを表しています。今年度も、多くの保護者、地域の皆様にご協力をいただき、そのご支援にはいつも感謝しています。子どもたちには、自分たちがお家の方や地域の方から見守られ生活をしていることを伝えていきたいと思っています。来年度も、ボランティアの協力を得て学校教育活動を進めていきたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

＜項目 17＞運動会・学習発表会などの学校行事は、お子さんが成長する機会になっていると思いますか

「そう思う」「大体そう思う」を合わせると昨年度同様、97%と高い評価をいただいています。今回も、学校行事について、多くのご意見をいただきました。練習時期や開催方法、内容等、子どもを中心に据えた行事の目的を優先し、その目的の達成を目指した魅力ある学校行事になるよう工夫をして取り組んでいきます。

＜項目 18＞学校のおたより（学年だより・案内文書など）のペーパーレス化を進めていますが、特に不自由は感じなかったと思いますか。

「そう思う」「大体そう思う」を合わせると 89%と高い評価をいただきました。tetoru 配信が定着してきた成果だと思っています。子どもたちへの指導や説明が必要なものについては、紙媒体の配付も行っています。また、紙媒体配付のご要望が多かったものにつきましては検討をしていきます。今後、情報を迅速にわかりやすく伝えていけるようにしていきます。

＜項目 19＞宮西小学校の「ホームページ」をよく見ていると思いますか

残念ながら、学校 HP の閲覧は年々減っています。学校 HP では、学年だよりの発行回数

が減った分、子供たちの日々の学校生活の様子や行事での取り組みについて紹介しています。また、個人情報保護の観点から、写真の解像度を下げて掲載していますこと、ご理解いただけますようお願いいたします。学校の様子を知っていただくためにもタイムリーな更新を心がけていきますので、ぜひご覧ください。

アドレスはこちら⇒<https://ichinomiya.schoolweb.ne.jp/2310131>

<項目4-1>お子さんが自由に使えるスマホを持たせていますか。

スマホの所持率は、年々増えています。それに伴い、SNS やオンラインゲーム等でのトラブルが学校にも寄せられており、情報モラル教育の推進は急務となっています。ご家庭におかれましても、ルール作りやお子さんへの働きかけなどをよろしくお願いします。

<項目4-2>学校でのタブレットの活用は、子供たちの学習活動に役に立っていると思いますか。

「そう思う」「大体そう思う」を合わせて、86%という評価をいただきました。子どもたちは年々操作に慣れてきており、授業や学校生活での活用はここ数年で進んでいる状態です。端末の持ち帰りについては、持ち運びによる破損（自己負担になることがあります。）や閲覧・使用時間について、ご家庭の協力が必要となってくるため、検討をしているところです。

【自由記述】主な意見の抜粋・まとめ

他校と比べて課題が少ない。中学に上がった時についていけるか心配。

宿題が少なく、親が行ってもなかなか自習学習に取り組みないので、丸つけは親でも良いので宿題を増やしてほしい。

宿題がかなり少なくなって、基礎学力の低下につながっていると思う。自主的にできる子、親がしっかりやらせる家庭はいいが、そうでなければ楽しい、楽な方に流れていく。

ペーパーレス化に賛成だが、『宮西カレンダー』や『学年だより』は紙媒体で配布してほしい。タブレットで何をしているのか分からない。見たこともなく、活用できているのかわからない。

先生方の負担軽減ということはわかるが、すべての行事において簡素化されてしまっていると思う。

運動会のリレーや、徒競走を再開して欲しい。特にこの学年はそういった機会が無かった。学習発表会は、それぞれの工夫がなされていた。このような機会は大切だと思う。

登校の班が全く機能していないように感じる。指導をお願いしたい。

不審者情報があるので通学が怖い。校長先生が歩いてくださっているので安心感がある。

真っ暗な中、しょっちゅう家の前の道路で子ども達が遊んでいる。学校でも、帰宅時間や、道路で遊ばないように声をかけてほしい。

校内ですれ違っても挨拶をしない先生がいるのに驚いた。先生方が子どもたちのお手本になって挨拶をしてほしい。

担任の先生が一人ひとりの個性を受け止めながら的確な指導をしてくださり、1年間とても安心して送り出すことができた。

先生方が子どもの悩みや不安をしっかりと聞いてくださり優しく対応してくださったの安心している。

地域の方の見守り活動が大変ありがたく、子ども達にとっても、自発的な挨拶や、交通安全の意識が高まるきっかけとなっている。

※ このほかにも、さまざまなご意見やご感想をいただきました。すべてを載せることはできませんでしたが、これからの教育活動に生かしていくよう努力していきます。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。